

《ハルミラ遺跡を行く・朝》平山郁夫 2006年

福岡三越開店20周年記念特別企画

平山 郁夫

シルクロードコレクション展

2018年1月2日(火)～14日(日)
福岡三越 9階「三越ギャラリー」

◎開館時間：午前10時～午後8時 1月2日(火)は午前9時～午後7時閉館
最終日は午後5時閉館 [ご入館は閉館の30分前まで]

◎入館料：一般 800円(600円) 消費税込 高校生以下無料 ()内は前売及び20名さま以上の団体料金

※エムアイカード、エムアイ友の会カード、三越伊勢丹ホールディングス株主さまご優待カードのご提示でご本人とお連れの方1名さまをご優待いたします。

主催：公益財団法人 平山郁夫シルクロード美術館、朝日新聞社 後援：公益財団法人 日本美術院 福岡展特別協賛：にしこグループ

※お子さまの安全のため、小学生以下の方は、保護者の方向伴でご入館ください。※身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳の交付を受けている方およびその介護者の方は手帳のご提示にて無料でご入館いただけます。



《有翼女神像奉献板》
インド 前1～後1世紀

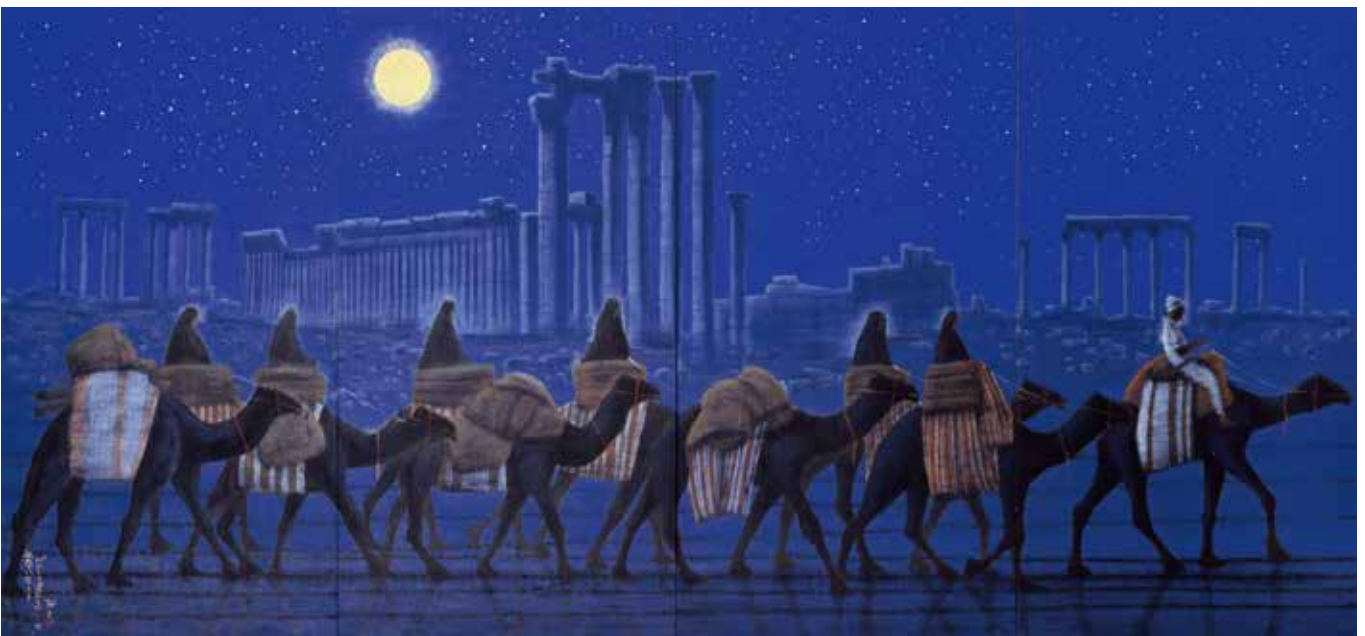


《有翼馬留め金具》
イラン 3～7世紀



《円形切子碗》
イラン 5～7世紀

～夫妻の視点が織りなす、人類への遺産～



《ハルミラ遺跡を行く・夜》平山郁夫 2006年

this is japan.

MITSUKOSHI

福岡

〒810-8544 福岡市中央区天神2-1-1
TEL/092-724-3111(大代表)

www.iwataya-mitsukoshi.co.jp



The Cultural Heritage of the Silk Road



《戦国玉》中国 前5～前3世紀

スケッチをする平山郁夫 バルミラ遺跡にて 1979年



《供養者像》
ガンダーラ 4～5世紀



《花唐草文金更紗》インド 18世紀

～夫妻の視点が織りなす、人類への遺産～

日本画壇の巨星、日本美術院の理事長を永く務め、日本美術界のみならず世界の文化財保護に力を注いだ平山郁夫(1930～2009)。広島県に生まれ東京美術学校(東京藝術大学)を卒業。15歳の時の広島での被爆体験をもとに死と向き合いつつ描いた《仏教伝来》が再興院展で注目されて以降、日本文化の源流を求めてシルクロードを歩き出しました。文明が行き交っただけでなく、仏教が東漸した道でもあるシルクロードの平山夫妻の旅は、1968年(昭和43年)から始まり、以後40年に渡り続くこととなりました。



平山夫妻 イラン、ペルセポリスにて 1970年

本展では、平山郁夫が描いたシルクロードの旅の足跡をたどる絵画に加え、妻の美知子氏と共に各国で収集した精緻で高価な金銀装身具などの工芸品とこの地域固有の貴重な織物などを展示。夫妻の視点が織りなす、平山芸術とシルクロード文化の魅力を余すところなくご紹介いたします。



《貴婦人像(死者の肖像)》
シリア・バルミラ 2～3世紀



《菩薩像 敦煌石窟 57窟 南壁》
スケッチ 平山郁夫 1999年



《古代ローマの遺跡 フォロ・ロマーノ》平山郁夫 2008年



《コロントの遺跡》平山郁夫 1978年

福岡展 特別展示

本会場では平山郁夫が福岡を訪れた際に描いた作品を特別出品いたします。



《太宰府天満宮》平山郁夫 1997年
太宰府天満宮所蔵

同時開催

平山 郁夫作品展

■2018年1月2日(火)～14日(日)
[1月2日(火)は午後7時閉場、最終日は午後6時閉場]
■福岡三越 9階=岩田屋三越美術画廊

展覧会開催を記念して、作品を販売いたします。オリジナル作品と版画、約60点を取り揃えております。